

校長だより

福津市立福間東中学校

校長 猪股 清貴

平成 28 年 2 月 19 日 No49

残りわずかな今の時間が大事!



私立の一般入試、公立の推薦入試が終わり、進路先が決定した人たちもいますが、多くの生徒は3月8日に実施される県立高校の入試を目指しています。今どれだけ真剣に取り組むことができるか、それが合否を大きく左右します。左の写真は数学の授業を受ける3年生の姿です。誰ひとり気を抜いている人はいません。教室にはピーンと緊張感が張り詰めています。3年生の先生方がいつも「入試は団体戦だ!」とおっしゃっていますが、まさに、全員が15の春を笑顔で迎えるために力を合わせて1時間1時間

の授業を創り上げています。先生の説明に首をかしげていた生徒がポツリ「あ〜そういうことか!」とつぶやきます。するとあちこちで首を縦に振る姿が…この子たちなら大丈夫だ!と教室を後にしました。

3年生は授業はもちろんですが、卒業式に向けても着々と準備を整えています。右は最後の期末テストが終わった後に体育館で合唱の練習をする様子です。体育館中に響き渡る美しいハーモニーに感動しました。まだまだ、これくらいで感動してはいけないのでしょね。東中学校の新しい文化を築いてくれた3年生、残りわずかな時間でどんなフィナーレを見せてくれるのか楽しみです。



明日は最後の土曜参観です



事務室横の白梅が花びらを付けました。紅梅は蕾が大きく膨らんでいます。今日(2月19日)は二十四節気の「雨水(うすい)」。空から降るのが雪から雨に変わり、氷が溶けて水になるという意味です。草木が芽生える頃で、昔から、農耕の準備を始める目安とされてきました。春はもうそこまで来てます。

明日は今年最後の土曜参観授業です。1年生の成長ぶり、修学旅行前、準備万端の2年生、そして、最高のフィナーレに向けて真剣に取り組む3年生の姿をご覧ください。お待ちしております。